

3. 一般出版物寄稿エッセイ

業界関連新聞・雑誌や私が属する「SAMの会」の機関誌「SAM NEWS」など(別掲)とは別に、ごく一般的な出版物やウェブサイトなどへの寄稿論文などに限って下記に列記してみました。

文芸作品的な作文は苦手な私で、書くと言えば、何かを提言するような内容や現状否定したり、逆に肯定(格差社会など)するような感じの文章に傾斜しています。従って、文章スタイルはすべて、「です・ます調」でして、「である調」は皆無に近いことをよとしてしています。個人トラック制提言などはその最たるものでして、大勢が反対していることへの提言活動には「である調」でやると、袋叩きに遭うこと必定です。(笑い)

なお、一般出版物への原稿起用が期待出来ず、さりとて、ダンマリでは意気地が無いと感じる場合の私にとっての「書く(自己表現の)場所」は、本ウェブサイトの「[Logitant Website Reports](#)」です。欲求不満は、かくして解消ってところですよ。(笑い)

10. 『』

9. 『格差社会で思うこと』

8. 『デフレは終焉するのか!?!』

(知的戦略を語る会「ウェブサイト掲載会員寄稿」2006年7月8日)

7. 『経営姿勢を語る:規制緩和を見据えた情報開示と説明責任』

(第一経済レポート誌「論壇」・2004年9月1日号)

6. 『デフレ経済をどうみるか?(下)』

(第一経済レポート誌「論壇」・2003年9月3日号)

5. 『デフレ経済をどうみるか?(上)』

(第一経済レポート誌「論壇」・2003年8月27日号)

4. 『生涯学習とボランティア活動のあり方一考 “一本のあざなえる縄の如し”』

「生涯学習とサクセスフルライフエージング」

財団法人健康・生きがい開発財団編2002年3月31日)

3. 『生きがいづくり』

(中国新聞夕刊「でるた」 1998年4月27日号)

2. 『生涯学習とボランティア活動のあり方一考 “一本のあざなえる縄の如し”』

(上智大学大学院文学研究科関連「生涯学習フォーラム」第3巻第1号 1998年7月)

1. 『ハングリー精神 わが人生への活力と成果』

(文芸出版社出版「わが人生論」広島編 1990年8月20日)

[Back to the Top](#)

yoshida.yuuki@a-bombsurvivor.com